

小論文のポイント1

「小論文の種類」

こんにちは。ろう・難聴中高生の学習塾の講師の守屋です。
今日は「小論文の種類」について説明していきます。

まず、大学入試には様々な受験方法があります。その中で、小論文接がある受験方法もありますし、小論文が必要ない受験方法もあります。

一般的に小論文がある受験方法は、「推薦入試」「AO入試」です。「一般入試」で受験する場合には基本的に小論文はありません。ただし、現代文の問題の中で要約や小論文を書かせる問題がある場合もあります。志望大学が決まったら、自分の受験方法の中に小論文があるかどうか調べてみましょう。

小論文が苦手だなと思う人も、今から対策をしていけば大丈夫です。

(守屋先生体験談を短く。)

※例 私は難聴です。元々文章を書くのが苦手で、小論文なんて書けるわけないと思っていました。しかし、どうしても志望大学に入学したくて、この塾で対策をしてもらい、何度も書き、添削してもらうことで、書けるようになりました。みなさんも一緒に頑張りましょう。

さて、「小論文の種類」ですが、大きく分けて4つあります。

1つ目は「テーマ型小論文」です。与えられたテーマについて自分の意見を論理的に記述するものです。受験する学部・学科に関係のあるテーマが出題されることが多いです。例えば、福祉学部だったら、「日本における福祉政策の問題点について1つ挙げ、その解決策を800字以内で書きなさい。」という感じです。大学によって文字数や制限時間もちがいます。

2つ目は「課題文を読んで論じる小論文」です。まず課題文（現代文の論説文のようなものや、新聞記事など）を読み、その内容についての意見を書くものです。大学によっては、意見を書く小論文の他に、課題文の内容の要約を書かせたり、筆者の主張を書かせる問題がある場合もあります。このタイプの場合、書く力もちろん必要ですが、読解力も必要になります。

3つ目は「図表やグラフを分析して論じる小論文」です。まず、図や表、その説明文を読み、図や表からわかることをもとに論じる問題です。例えば、日本の人口の年別の推移のグラフや、国別の食料自給率の表などです。これも受験する学部・学科に関係のある図や表が出題されることが多いです。

4つ目は「学部・学科への志望理由等を書く小論文」です。これは、志望理由書やエントリーシートで予め書いていることもあるので、比較的準備しやすいですが、その分差がつきにくいとも言えます。なぜその学部・学科に入る必要があるのか、卒業後の展望も踏まえて具体的に書けると良いです。

「小論文」といっても、大学や入試方法によって様々です。時間も短いと45分程度、長いと90分以上の場合もあります。自分の志望大学の入試方法について、インターネットを使ったり、受験案内を取り寄せたりして調べてみてくださいね。過去問が公開されている大学も多いので、ぜひ調べたり取り寄せてください。

この塾では、受験に対する相談も受け付けています。もし大学受験のことで困っていること、悩んでいることがあったら、連絡してください。連絡は塾のホームページの「お問い合わせ」からできます。

では、これでこの動画は終わります。ご視聴ありがとうございました。バイバイ。

参照

<https://shingaku.mynavi.jp/cnt/etc/column/step6/note/>

文 新田 倫平